

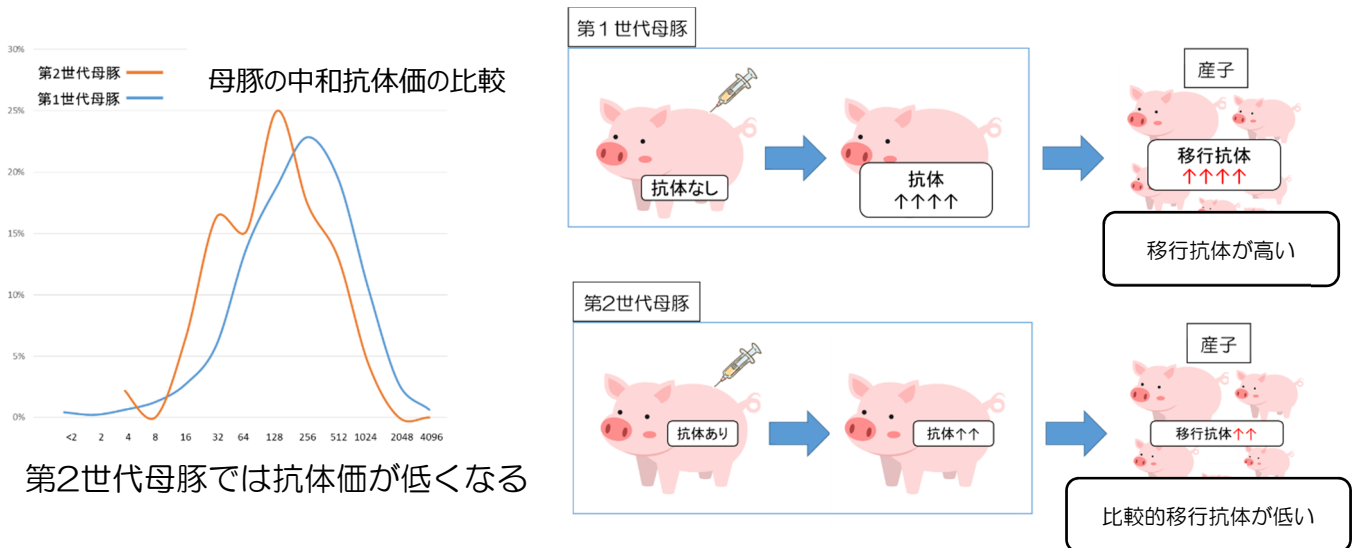
家畜衛生だより

令和4年6月 No.18
庄内家畜保健衛生所
庄内地区家畜畜産物衛生指導協会
TEL 0235(68)2151
FAX 0235(66)2466

子豚の豚熱ワクチン接種適期は、30～50日齢に！

◎子豚へのワクチン接種について

- (1) 県内での調査により、第2世代母豚（ワクチン接種済み母豚から生まれた母豚）から生まれた子豚は、移行抗体が低い傾向であることがわかりました。
- (2) 第2世代母豚から生まれた子豚では、移行抗体が消失する時期が早まるので、現在は30～50日齢での接種が望ましい状況です。



具体的な切り替えの時期、方法などは、獣医師または家畜保健衛生所へ御相談ください。

◎繁殖豚へのワクチン接種について（これまでどおり）

繁殖豚への接種は、初回接種から6か月後に1回、その後1年おきに2回 → 計4回の接種が必要です。

ワクチン接種豚の台帳を作成し、接種豚の出生日（導入日）、ワクチン接種歴などを確実に記録し、適切な時期にワクチン接種ができるようにしましょう！

ワクチン接種農場でも飼養衛生管理は重要です！！

◎接種した全ての豚が免疫を獲得できるわけではありません！

- ・ワクチンの免疫付与には個体差があり、全ての豚に対し適切な時期にワクチンを接種することは難しいのが現状です。

ワクチンを接種していても、豚熱が発生する可能性があります！今一度、飼養衛生管理の点検を！！

(1) 野生動物侵入防止対策

庄内でも、野生いのししの豚熱陽性例が確認されています。

畜舎や堆肥舎へ野生動物が侵入しないよう、防護柵・防鳥ネットが適切に設置されているか確認しましょう！ネズミ対策も忘れずに！

(2) 人、車等による病原体侵入防止措置

豚舎ごと専用の作業着・長靴の着用、農場出入時の動力噴霧器による車両消毒を徹底しましょう！

(3) 異常豚発見時の早期通報

発熱や元気消失を示す豚が増えているなど、普段と少しでも異なる状況を認めただ際は、速やかに家保へ通報してください！

家畜に異状が認められた場合は速やかに連絡してください！

庄内家畜保健衛生所：0235-68-2151 (夜間・休日は緊急携帯電話へ転送)